

2 学期をふり返って

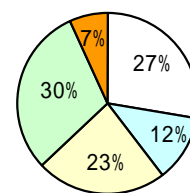
2 学期を振り返ると、岩美郡小教研発表大会や市町村合併などいろいろなことがあった。4 月から続けてきた情報教育推進通信も 100 号を越え、今日まで来た。2 学期の内容をまとめてみると図 1 のようになっている。1 学期に比べるとコンテンツ紹介の割合が減った。代わりに増えたのが、操作紹介だ。視聴覚室にあるサイバーボードや夏休みの研修で使ったわいわいレコーダー、スタディノート、一太郎スマイルと校内にあるソフトの使い方に多く号数を割いたからだ。1 学期よりも 2 学期末の方が視聴覚室に子どもたちが来る割合も増えたとし、冬場になると休憩時間の使用も増えると思うので、3 学期は実践紹介に号数をかけられるといいなと思う。4 月に高らかに宣言した毎月自分の授業を公開するのも途中で終わっていたのが悔やまれる。3 学期もおいそがしいと思うが、ご愛読のほどをよろしくお願ひしたい。

今までの情報教育推進通信を冬休みの間に読んでみようと思われる方は、

<http://homepage3.nifty.com/yoshiman/tuusin-top.htm>

にある。パソコンでいつでも見られるので、どうぞ(*^_^*)

図 1: 情報教育推進通信内容割合



□ 実践紹介 □ コンテンツ紹介
□ 情報活用能力育成 □ 操作紹介
■ ソフト紹介

独自の情報教育

12 月 15 日の朝日新聞の地方面に「**鳥取・福部小 独自の情報教育～教員向け情報を毎日発信～**」という記事が載った。紙面のスペースはそれほど大きくもなかったが、本校の取り組みが紹介された。記事の内容的には、「県立高校の教職員にはパソコンが貸与されているが、小中学校の教員にはない。そのため情報教育に対する温度差が懸念されている。そんな中、学内外に向けて情報発信を行っている学校がある。」ということで本校が紹介されている。いろいろと話をさせていただいたが、自分が級外として動けるようにしていただいた校内配置のことや毎日出している情報教育推進通信のこと、6 年生のチャットの授業のことなどが書かれている。

福部小学校の取り組みが、すごく独自性があるというわけではないが、県内の小学校の中ではモラルの指導までやっているところは少ないため、こういった表現になったと思われる。個人レベルでは、モラル指導やメディアとの付き合い方などをやっておられる方は、県内にも多数いる。学校体制としての動きを取り上げられたかっただろう。今は独自だととらえられるのかもしれないが、もうすぐ当たり前になる。こうして通信を書いたことで、先生方もお分かりだと思うが、上述の話で「他の学校がやってないならそんなにやらなくてもいいんじゃない」という発想ではだめだ。他の学校がどうこうではなく、今いる**福部小学校の子どもたちに必要な力かどうかが大切であり、必要なことは労苦をいとわず、チャレンジする姿勢こそが大切である**。それができる学校でありたいと思うし、そうであると信じている。

みなさん良いお年を<m(__)m>